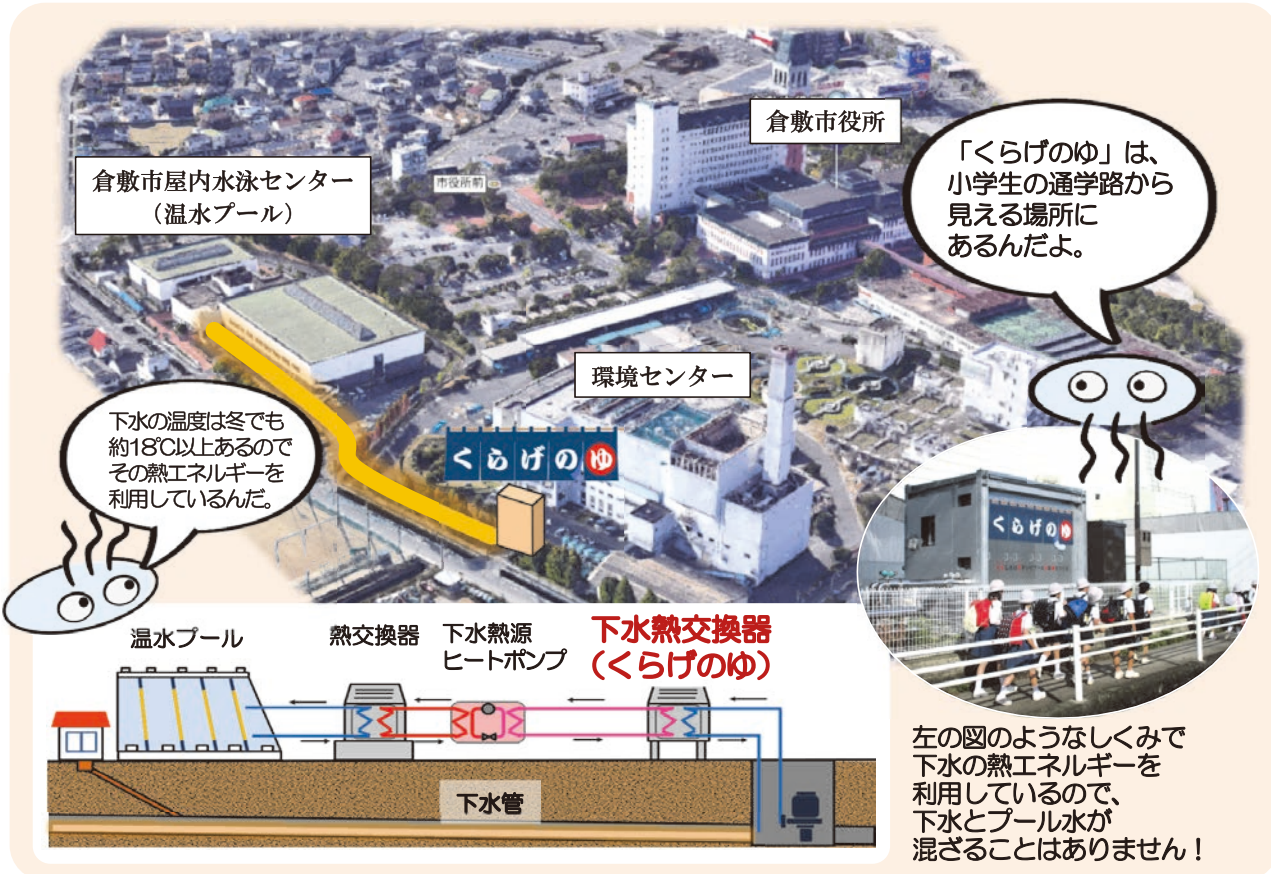


# イノベーション部門

## 『くらげのゆ』 国内初！管路外設置で下水熱利用

岡山県倉敷市



### PRポイント！

1. 兵庫県以西で初となる下水熱利用。
2. 管路外熱交換器の採用は国内初。
3. システムの愛称『くらげのゆ』を下水道部内の若手グループが発案。  
(くらしきのげすいでプールのおゆをつくる。)

### 取組の効果！

1. 経済性：温水プールの燃料費は年間 900 万円削減、投資回収年数は 4.6 年の見込み。
2. 環境性：CO<sub>2</sub> 削減量は約 30% の見込み。
3. 事業性：小学生の通学路に近接しており、下水道事業の「見える化」に寄与。

### Key Person



下水建設課  
技師 金山 友美

下水熱交換器は国内初の「地上設置型」であるため、熱需要家（プール管理者）に加え、用地の確保も必要でした。下水道部内はもとより、庁内関係部署との合意形成に苦慮しましたが、「下水熱利用アドバイザー派遣等支援事業」による国土交通省の後押しもあり事業化できました。

下水熱交換器を地上に設置することを活かし、若手グループで「くらげ（倉下）」と「温泉マーク」をモチーフとしたキャラクターをつくりました。下水熱交換器にも『くらげのゆ』デザインを施すなど、下水道事業の「見える化」に貢献しました。